

2021年7月21日

## 河南省鄭州で記録的大雨により 12 人が死亡

中国内陸部の河南省鄭州市では、7月18日午後6時から21日午前零時の間、継続的に非常に激しい暴風雨に見舞われました。平均降水量は449mmとなり、市内全観測所の38%にあたる73ヵ所において累計降水量は500mmを超え、そのうち新密白寨では875mmに達する最大の降水量を記録しました。

鄭州、登封、新密、荥陽、鞏義の5ヵ所の観測所における1日あたりの降水量は、記録が取られて以来最大となり、鄭州では20日午後4時から5時の1時間当りの降水量は201.9mmに達し、中国の陸地における1時間当りの降水量として、観測史上最大となりました。

この記録的な大雨により、鄭州市の常庄ダム、郭家咀ダムおよび賈魯河ダムなど多くのダムで水位が上昇し、そのうちの1つは決壊する恐れがあると報道されています。鄭州市内では、広い範囲で冠水し、家屋、地下鉄や線路、道路、航空輸送に深刻な影響を与えています。

この記録的大雨による洪水で、これまでに約10万人が避難し、12人が死亡しました。



この状況を受けて、河南省政府、鄭州市委員会市政府は、緊急救助担当者を任命し、直ちに救助活動に当たるよう指示し、中国政府は軍の部隊などによる救助活動を続けています。

これまで、解放軍兵士730人、武装警官1,159人、車両60台あまり、消防士6,760人、消防車1,383台、民兵690人、救助ボート35隻、その他の救助装備25,784台を緊急救助地域に提供しました。現時点で、救援作業はまだ継続されています。

鄭州は中国内陸部河南省の中心都市で、人口はおよそ1,200万人。古くから栄えた都市で、現在は中国の東西南北を結ぶ交通や物流の要衝として重要な役割を担っています。

一方、市内の北部を黄河が流れていて、たびたび水害が繰り返されてきました。

工業都市としても発展した鄭州には、日産自動車の中国における合弁会社の工場があるほか、自動車関連などの日系企業が進出しています。

河南省にある弊社の提携工場に対する大雨の影響について、現在確認しております。

以上